

ボスニア・ヘルツェゴビナ(BH)情勢月報(2022年1月分)

2022年3月

在ボスニア・ヘルツェゴビナ日本国大使館

目次(以下は主なトピックを抜粋)

1. 国内情勢

(1) 国家レベル

●[新型コロナウイルス感染状況\(1～31日\)](#)

(2) エンティティ、特別区

イ. スルプスカ共和国(RS)

●[「RSの日」の祝賀式典の開催\(9日\)](#)

2. 外政

(1) 多国間、国際・地域機構(EU加盟プロセスを含む)

●[BH選挙法改正交渉\(26～30日\)](#)

(2) 二国間関係

●[米財務省によるドディック大統領評議会メンバーに対する制裁発動等\(5日\)](#)

(3) 日・BH関係

●[伊藤大使とキャノンメディカルシステムズ南ヨーロッパBH常駐代表の懇談\(6日\)](#)

●[伊藤大使と当地UNDP代表の懇談\(24日\)](#)

●[伊藤大使と東サラエボ市公衆衛生研究所所長の懇談\(25日\)](#)

●[伊藤大使とチャバラBH連邦大統領の会談\(31日\)](#)

3. 経済

(1) 経済指標(BH統計庁)

(2) 経済政策・公共事業

(3) 経済協力(新型コロナウイルス対策支援を含む)

(4) 民間セクター

●[対BH外国直接投資、2021年は増加\(6日\)](#)

●[ツバキ・ナカシマ・コニツツ社の工場拡張\(23日\)](#)

(注:この月報は、当地紙報道などの公開情報を取りまとめたものです。)

1. 国内情勢

(1) 国家レベル

●新型コロナウイルス感染状況(1～31日)

1月の国内の新規感染者総数は5万5,411人で、前月に比べ大幅に増加。また、4日、RSでは新型コロナと季節性インフルエンザの双方に同時に感染する「フルロア」の感染事例が報告された。

なお、新型コロナウイルスに関連する統計情報を掲載する Worldometer によれば、新型コロナウイルス感染によるBH国内の死者数はこれまでに1万3,696人(1月13日時点)で、人口100万人あたりの死者数は欧州域内ではブルガリアに次いで2番目に悪い数字である。

(2) エンティティ、特別区

イ. スルプスカ共和国(RS)

●「RSの日」の祝賀式典の開催(9日)

RSの中心都市バニャ・ルカにおいて、例年に続き「RSの日」の祝賀式典が開催され、ドディック大統領評議会セルビア系メンバーを始めとするRS首脳その他、テパブチェビッチ・セルビア社会・労働・退役軍人相およびカラブコフ当地ロシア大使が参列した。なお、BH憲法裁判所は2019年3月に同祝日をBH憲法違反とする判断を示しており、式典開催に対しては国際社会の間でも懸念が強い。

2. 外交

(1) 多国間、国際・地域機構(EU加盟プロセスを含む)

●BH選挙法改正交渉(26～30日)

国内主要与野党は、パルマー米務省BH選挙法問題担当特使およびアイホースト欧州対外行動庁(EEAS)西バルカン担当局長の

仲介の下、サラエボおよび南部ネウム市において選挙法改正交渉を行った。各党は選挙の透明性および公平性確保に向けた制度改正につき基本合意に達した一方で、主要な争点である大統領評議会メンバー選出方法などをめぐっては、ボシュニャク系とクロアチア系各党の隔たりは今回も埋まらず、最終的な交渉妥結は次回以降に持ち越された。

(2) 二国間関係

●BH・クロアチア外相会談(4～5日)

ゲルリッチ＝ラドマン・クロアチア外相がBHを訪問し、トウルコビッチ副首相兼外相(ボシュニャク系与党第一党SDA所属)等と会談した。両外相は、本年前半に両国政府の合同会合をザグレブで開催する方針で合意した。また、クロアチア政府が両国国境付近で進める核廃棄物処理場建設計画をめぐり、BH側の反発を踏まえ、両国の専門家で構成される委員会における協議を加速化する方針を確認した。

●米財務省によるドディック大統領評議会メンバーに対する制裁発動等(5日)

米財務省は、汚職関与並びにBHの不安定化および領土一体性に対する恒常的な脅威を主導しているとして、ドディック大統領評議会メンバーに対する制裁(資金凍結等)の発動を発表した。また同日には、米務省も同様の理由で、テゲルティヤ前高等司法検察評議会議長等に対する制裁(渡航禁止等)の発動を発表した。なお、ドディック・メンバーは2017年に米務省の制裁対象(渡航禁止措置)になっており、米国の制裁対象となるのは今回で2回目。

●パワーUSAID長官のBH訪問(20～22日)

パワーUSAID長官はBHを訪問し、21日には大統領評議会3メンバーと会談しBH情勢につき意見を交わしたほか、22日にはジャポBH連邦環境・観光相およびガシッチRS通商・観光相と会談し、BHの観光振興につき意見を交わした。

●英国議會議員団のBH訪問(26～28日)

英国議会外交委員会の議員団8名がBHを訪問し、26日に大統領評議会と、27日にはトゥルコビッチ副首相兼外相およびポジッチ国防相(ボシュニャク系与党第二党DF所属)とそれぞれ会談した。各会談では、現在のBH政治・経済情勢、BH・英国二国間関係、および英国の対西バルカン政策につき意見を交わした。英国議員団はBH情勢を注視しているとしつつ、その改善に向けた動きを支持する旨述べた。

●ビョルンスタット・ノルウェー西バルカン担当特使のBH訪問(1月31日～2月2日)

ビョルンスタット・ノルウェー西バルカン担当特使がBHを訪問、サラエボではボシュニャク系およびクロアチア系の与野党要人と、またパニャ・ルカではRS政府要人とそれぞれ会談した。ビョルンスタット特使は、デイトン合意に基づくBHの主権および領土一体性を強く支持する旨述べつつ、BHの国政正常化に向け対話の促進を呼びかけた。

(3)日・BH関係

●伊藤大使とキヤノンメディカルシステムズ南ヨーロッパBH常駐代表の懇談(6日)

伊藤駐BH日本国大使は、来訪したキヤノンメディカルシステムズ南ヨーロッパのポリッチBH常駐代表との間で、当地における医療分野の操業環境について意見交換を行った。懇談の席では、医療体制拡充の必要性が特に高まっている現在、医療機材の分野における日本の技術力を当地で更に啓発する必要があるという点で一致した。



(写真:伊藤大使とポリッチ代表)

●伊藤大使と当地UNDP代表の懇談(24日)

伊藤駐BH日本国大使は、ネデラ当地UNDP代表等と当地における脱炭素化および気候変動への適応につき意見交換を行った。懇談の席では、我が国の令和3年度補正予算で認められた「国際機関等を通じた途上国への脱炭素化・気候変動対策支援」としてUNDPに拠出される資金の活用方法につき説明があり、当館として当地UNDPと緊密に協力していくことを確認した。



(写真: 伊藤大使とネデラ当地UNDP代表等)

●伊藤大使と東サラエボ市公衆衛生研究所所長の懇談(25日)

伊藤駐BH日本国大使は、東サラエボ市のスルプスカ共和国公衆衛生研究所を訪問し、ミオブチッチ所長より同研究所の活動について紹介を受けた。懇談の席では、今後の医療分野の協力について意見交換が行われた。



(写真: 伊藤大使とミオブチッチ所長)

●伊藤大使とチャバラBH連邦大統領の会談(31日)

伊藤駐BH日本国大使は、チャバラBH連邦大統領を表敬訪問し、BH情勢および日・BH関係につき意見を交わした。チャバラBH連邦大統領からは、BHおよびBH連邦(BHを構成する2エンティティの一つ)に対する日本の支援に謝意が表

明された。



(写真: 伊藤大使とチャバラBH連邦大統領)

3. 経済

(1)経済指標(BH統計庁)

●GDP成長率

2021年第3四半期(7～9月)の国内GDP成長率は、季節調整後の数値で同年第2四半期から1.7%のプラス成長。

●産業生産指数

2021年11月の産業生産指数は、季節調整後の数値で前月比0.3%のプラス、前年同期比では6.7%のプラス。

●貿易収支

2021年の輸出総額は、前年比35.7%プラスの142億7,400万KM(約72億9,800万ユーロ)、輸入額は前年同期比27.9%プラスの215億9,700万KM(約110億4,200万ユーロ)。輸出額から輸入額を引いた貿易収支は約73億2,300万KM(約37億4,400万ユーロ)の赤字。輸出・輸入額の上位5か国は以下のとおり。

BHからの輸出	BHへの輸入
① セルビア	① イタリア
② ドイツ	② クロアチア
③ クロアチア	③ セルビア
④ イタリア	④ ドイツ
⑤ オーストリア	⑤ 中国

●雇用／失業率

2021年11月の失業登録者数は37万8,079人で、前年同期比で8.5%の減少。

●平均給与

2021年11月の平均給与(手取り)は1,023KM(523ユーロ)で、前年同期比で5.9%のプラス。

●消費者物価指数

2021年12月の消費者物価指数は前月比0.7%のプラス。

●観光客数

2021年12月にBHを訪れた観光客数は8万4,545人で、前年同期比113.6%のプラス。

(2)経済政策・公共事業

●当地世銀代表、22年のBH国内のGDP成長率は前年比でマイナスと予想(31日)

シェルドン当地世銀代表は、国内放送局のインタビューにおいて、2021年のBHのGDP成長率は、2020年の新型コロナの影響から回復し、6.5%に達するとの見通しを発言。その上で、2022年のBH経済成長は、鉱物資源および化学薬品などのBHからの輸出が減少する見込みから減速傾向に転じ、GDP成長率は2021年比で約3%のマイナスになる

との見通しを述べた。

(3)経済協力(新型コロナウイルス対策支援を含む)

●各国による対BH新型コロナ対策支援

11日、米国は、対BH新型コロナ対策支援の一環として、BHにモデルナ製ワクチン9万6,000回分を供与した。このほか、クロアチア政府はモデルナ製ワクチン7万回分を、また21日には、ブルガリア政府がファイザー製ワクチン約25万8,000回分をそれぞれBHに供与した。

(4)民間セクター

●対BH外国直接投資、2021年は増加(6日)

BH中央銀行の発表(暫定)によれば、2021年1～9月の対BH外国直接投資額は、前年同期比で65%プラスの10億4,900万KM(約5億3,600万ユーロ)であった。

●ツバキ・ナカシマ・コニツツ社の工場拡張(23日)

当地報道によれば、中部コニツツ市に工場を有し精密ローラーを生産する日本のツバキ・ナカシマ社は、同工場の生産施設拡張に向け、新たに5,000万KM(約2,560万ユーロ)の投資を行う予定である。また、同報道によれば、今回の設備拡張に伴い、同社では300人以上の新規雇用を予定している。